

# 会津若松市における平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

会津若松市教育委員会学校教育課

## 1 本市の総括的な結果

### (1) 小学校6年生(正答率)

国語A・・・国平均とほぼ同じ	(県：73.3	全国：72.9)
国語B・・・国平均をやや下回る	(県：56.6	全国：57.8)
算数A・・・国平均をやや下回る	(県：77.2	全国：77.6)
算数B・・・国平均をやや下回る	(県：46.2	全国：47.2)

### (2) 中学校3年生(正答率)

国語A・・・国平均をやや下回る	(県：75.5	全国：75.6)
国語B・・・国平均を下回る	(県：65.0	全国：66.5)
数学A・・・国平均を下回る	(県：59.0	全国：62.2)
数学B・・・国平均を下回る	(県：41.2	全国：44.1)

※全国比±0.2以下；「ほぼ同じ」 ±0.3～1.9；「やや上回る」又は「やや下回る」  
±2.0以上；「上回る」又は「下回る」

## 2 正答率から見た考察(平成27年度の全国平均との比較から)

- (1) 小学校6年生の国語Aは、全国平均とほぼ同じ。国語Bはやや下回る。算数はA・Bともに全国平均をやや下回る。算数科A・Bにおいて、昨年と比べ全国平均を上回る学校数が増える等、改善が見られる。上位校と下位校との差が昨年度と比べ広がっている。

【全国平均を上回る校数の増加】

算数A：11校(H27)→12校(H28) 算数B：7校(H27)→11校(H28)

- (2) 中学校3年生の国語Aは、全国平均をやや下回り、国語B、数学A・Bは下回るものの、昨年度と比べ国語科ではA問題において、数学科ではA・B問題において全国との差が縮まる等、改善の傾向が見られる。また全国を上回る学校数が増加し、下位校の改善が見られる。

なお、全国平均と比べ、すべての教科において無解答率が高い傾向にある。

【全国平均を上回る校数の増加】

国語A：2校(H27)→2校(H28) 国語B：3校(H27)→4校(H28)

数学A：1校(H27)→2校(H28) 数学B：1校(H27)→2校(H28)

## 3 昨年の反省を生かした重点的な取組

- (1) 学校教育指導委員会による授業の質的改善とよりよい家庭学習のあり方の提言
- (2) 各校の児童生徒の実態に即した学力向上グランドデザインの活用
- (3) 授業での「めあて」の提示と「振り返り」「まとめ」の時間の確保

## 4 児童生徒質問紙の結果

※全国・県との比較(○は、上回る、●は、下回る主な項目)

### (1) 小学校の特徴

【主な上回る項目】

- 友達の話や意見を最後まで聞く。
- 家で、自分で計画を立てて勉強する。(中学校で下回る)
- 家で、予習・復習をする。
- 先生は、よいところを褒めてくれる。
- 学校の決まりを守る。(中学校も上回る)
- 授業の目標(めあて・ねらい)が示されていた。(中学校も上回る)
- 授業の最後に振り返る活動をよくおこなった。
- 国語の授業は、楽しく、よくわかり、将来役に立つ。

○国語の授業で、目的に応じて、資料を読み自分の考えを話したり書いたりしている。

### 【主な下回る項目】

- 平日2時間以上学習する。(中学校も下回る)
- 読書量と学校図書館、地域の図書館に行く回数。(中学校も下回る)
- 学校の出来事を家で話す。(中学校も下回る)
- 授業でわからないことを教師に聞く。(中学校も下回る)

## (2) 中学校の特徴

### 【主な上回る項目】

- 学校の決まりを守る。(小学校も上回る)
- 授業の目標(めあて・ねらい)が示されていた。(小学校も上回る)
- 学校以外で読書をする。
- 学習塾で勉強をする。
- 平日学校以外で読書をする。
- 学級の決まりを話し合っていて決めている。
- 総合的な学習の時間が好き。
- 先生は、理解していないところを、わかるまで教えてくれる。
- 数学の授業がよくわかる。

### 【主な下回る項目】

- 平日の学習時間が2時間以上。(小学校も下回る)
- 学校図書館、地域の図書館に行く回数。(小学校も下回る)
- 学校の出来事を家で話す。(小学校も下回る)
- 授業でわからないことを教師に聞く。(小学校も下回る)
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。(小学校では上回る)

## 5 学校質問紙(教員対象)による分析

※全国・県との比較(○上回っている点、●下回っている点)

### (1) 小学校の特徴

#### 【主な上回る項目】

- 授業の目標(めあて・ねらい)を計画的に取り入れた。(中学校も上回る)
- 授業の最後に振り返る活動を計画的に取り入れた。(中学校も上回る)
- 学習課題を理解して授業に取り組む。
- 多様な意見や思考を深める発問や指導をした。
- 家庭での学習方法を指導した。
- 校内研修会の実施回数。(中学校で下回る)
- 本やインターネットを使った調べ方の指導。(中学校で下回る)

#### 【主な下回る項目】

- 相手にしっかり話す、相手の話を聞く。(中学校でも下回る)
- 図書館資料を利用した学習。(中学校でも下回る)
- 講師招聘による校内研修。(中学校でも下回る)
- 保護者や地域の方の学校への参加(中学校も下回る)
- 礼儀正しい。(中学校で上回る)

### (2) 中学校の特徴

#### 【主な上回る項目】

- 授業の目標(めあて・ねらい)を計画的に取り入れた。(小学校でも上回る)
- 授業の最後に振り返る活動を計画的に取り入れた。(小学校でも上回る)
- 熱意を持って勉強している。
- 礼儀正しい。(小学校で下回る)

#### 【主な下回る項目】

- 相手にしっかり話す、相手の話を聞く。(小学校でも下回る)
- 図書館資料を利用した学習。(小学校でも下回る)
- 講師招聘による校内研修。(小学校でも下回る)
- 保護者や地域の方の学校への参加(小学校も下回る)

## 6 学力向上、授業改善のための対策について

※ ⑧：「會津教学 教への心得」

### (1) 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるために

- 自校の課題を分析し、重点単元を明確にした年間指導計画を作成する。
- 近隣の小・中学校と教育目標や教育課程等について、小中連携会議等を利用し共通理解を図り、重点等について共通の認識や実践を心がける。
- 振り返りの時間を活用する等、授業との連続性を重視した家庭学習とし、家庭学習の習慣を身に付けさせ、学習時間を確保する。
- 自校の課題について、教職員全員で共通理解を図るとともに、その課題や学校の研究テーマに応じた研修会を実施する。
- ⑧他のクラスの授業を積極的に参観し、研鑽し合う機会を増やす。
- 授業において、児童生徒の理解状況を確認するため、総括的な評価だけでなく形成的な評価を取り入れながら授業を進めるとともに、達成できない場合は、その躓きに応じて補充体制を整える。
- 中学校において、全国平均と比較し無解答率が高いため、原因の分析と対策に努める。

### (2) 思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるために

- 「相手にしっかり話す、相手の話を聞く」等の充実を図るとともに、言語活動を適切に位置づけた単元を構成する。
- ⑧「児童生徒の考えを引き出す工夫をする」
  - ・思考の深まりや広がりをもたせるような発問の仕方を工夫する。
  - ・児童生徒一人一人の学習が成立するような資料や教具等の準備をする。
  - ・児童生徒の多様な考えを引き出す学習活動・形態の工夫をする。(グループ活動の工夫)
- 子どものつぶやきや問いを「見取り－発表－つなぐ・かかわらせる」ことを意識した教師のコーディネートが心がる。

### (3) 主体的に学習に取り組む態度を育むために

- ⑧「児童生徒の『よさ』を見つけ、ほめる」ことを通して、自己肯定感を高める。
  - ・授業中に児童生徒が「よさ」を発揮できる活動の時間を確保する。
  - ・児童生徒の様子を見取り「よさ」を見つけ、具体的に「認める言葉」で伝える。
  - ・児童生徒が相互によさを認め合う「相互評価」の機会を設ける。
- 新聞等を利用した地域や社会で起こっている問題や学校図書館等の資料を積極的に使用し、学習意欲を高める教材や提示の仕方を工夫する。
- 学習だけに限らず、「やり遂げる」ことの達成感を味わうことができるような教育活動意図的に実施する。

### (4) その他

#### ① 会津若松市学力向上推進委員会による対策

- 委員会へ結果を報告するとともに、学力向上策について具体的に検討する。

#### ② 家庭との連携

- 家庭における学習習慣の定着を図る。
  - ・昨年度学校教育指導委員会で作成した「家庭学習版学びの心得」の自校化
- 保護者が授業参観や学校行事等に行きたくなるような魅力ある教育活動

#### ③ 地域の人材活用した基礎学力の向上

- 放課後や長期休業中等、地域人材を活用した個別学習の機会を保障する。
  - ・あいづっこサポートティーチャー、土曜学習「伸びよう！学ぼう！あいづっこ学習会」

## 7 今後の計画について

- (1) 分析結果をもとに、学力向上対策プランの見直しを行う。特に、福島県学力調査（11月小5・中2対象）に向けての対策案の作成。（各校）
- (2) 成果のあった取組や今後の対策の共有化を図る。（校長会議、学校教育指導委員会を利用）
- (3) 下位校に対しては、会津教育事務所との連携を図り、指導主事が訪問して、授業を参観したり、学力向上対策に関する個別相談会を実施したりする。
- (4) 本調査で明らかになった課題を基にした授業の指導法改善を図る。